

戦略的な広報活動の実施に向けた取組状況について

1 経緯

過去の経営向上懇話会において、戦略的な広報活動の必要性について、以下のようなご指摘をいただきました。

- ・愛称、マーク、キャラクターなど、どのように使うのか、どのように見せるのか、ビジュアル戦略も必要。プロのデザイナーを入れた方が良い。
- ・館としてのコンセプトやキャッチフレーズが決まっていないので、ロゴやマークも決まらない。それが無理であれば、せめて字体を揃えることから徹底を。コンセプトづくりからプロが入らないといけない。
- ・プロでないと無理。お金がかかってもやるべき。
- ・コンセプトをもとにイメージをつくることが核となる。専門家を入れる予算がないのなら、ほかの方法を考えなくてはならない。

愛称については、本年3月から4月にかけて全国に募集したところ、全国から1,000件を超える応募をいただき、選考の上「開館1年前イベント」（本年5月6日開催）にて発表する予定でしたが、

- ・新しい博物館にふさわしいインパクトがありつつ、広い世代に末永く親しまれる愛称を選ぶ必要があること
- ・愛称だけでなく、ロゴタイプやシンボルマークも合わせたトータルコーディネートが必要なこと

などから、5月6日の発表については延期させていただきました。

〔参考〕三重県総合博物館（仮称）の愛称募集について

■募集期間

平成25年3月7日（木）～平成25年4月3日（水）

■賞

最優秀賞 1点

※最優秀賞を受賞された方には、旅行券（3万円相当）と、新博物館の基本展示と全ての企画展示が観覧できる「パスポート券」（開館日から1年間有効）を3名分進呈

※このほか、応募者全員の中から抽選で10名の方に、三重の物産品を進呈

■募集方法

- ・ホームページやツイッターによる情報提供
- ・テレビ・ラジオ等を通じた周知
- ・博物館や県内小・中・高等学校等へのポスター・チラシの配布
- ・新県立博物館のPR役を担っていただいている「みりよく発信隊」を通じた周知
- ・懸賞サイトへの投稿など

■応募状況

件数：1,061件（愛称の件数としては814種類）

県外：44都道府県から応募

県内：21市町から応募

最年長：88歳 年少：3歳、4歳

このほか、**シンボルマーク**については、数点の候補まで絞り込んだところでしたが、愛称や**イメージカラー**とのマッチングを考慮する必要があることから選定には至っていません。

キャラクターについても、過去のプロジェクト（ティーンズプロジェクト）で使用したキャラクターや新たなキャラクターになり得る素材（さんちゃん、ミエゾウなど）が混在していることから、整理が必要となっています。

2 現状及び今後の予定

現在、経営向上懇話会山下委員の協力を得ながら、これら広報ツールの整理・再構築と広報全体に関する展開戦略等を行っており、愛称等については8月上旬を目処に発表する予定です。